



FROM THE DEAD



人生の成長への新たな一歩に向けて

法政大学はスーパーグローバル大学(SGU)に選ばれ、グローバル化を推進して いますが、その中でも経済学部は、国際経済学科を中心に英語教育を重視しており、 その一環として、SAプログラム(4ヶ月間の海外実習を中心とした留学プログラム) を設けています。

…と、こう書くと、4ヶ月で英語がペラペラになるという安易な気持ちや、逆に4ヶ 月で何かすごい成果を出さなければならないという焦りの気持ちを持つ人もいるかも

しれません。SAプログラムでの留学期間は4ヶ月ですが、現地の実習だけではなく、事前事後の学習もセット となっています。それらにしっかり取り組み、プログラム修了後も英語にふれあう、他の国の人たちとも交流す る、国際情勢や異文化に興味を持つ、そのきっかけとしてください。

私自身は、学生時代には留学経験はありません。他大学での助手時代、初めての留学(アメリカ北東部、ロチェ スター大学)を経験しました。3週間の留学で、最初はこの短期間で何ができるのだろう…とも思いましたが、 先輩から「これを、もっと長い留学のきっかけにしたらよい」ということばをいただき、背中を押されての留学 でした。で、初めての海外。いきなり飛行機が大幅に遅れて夜中に現地に到着。しかも、その日の真夜中、数十 年ぶりの大停電になり、厳冬のなか、暖房も灯りも来ないことがありました。でも、大学の寮ということで最優 先に停電復帰し、すぐに受入れの教授と会うことができました。

それにしても、英語の辛さに加えて、コミュニケーションが厳しい。大学の学食で(セットメニューなしの) サンドイッチを注文するのに「何を入れる?」と聞かれ、"just ham" (野菜の入らないハムサンドを食べたかった) と言ったところ、バターやマヨネーズいっさいなしのハムとパンが出てきてびっくり。今となっては笑い話です が、こうした小さなことが溜まるとかなりストレスで、当時はだいぶ落ち込みました。自分が当たり前と思って いたこと(たとえば、ハムサンドイッチにはバターぐらいつけるという思い込み)が、さまざまに異なることを、 ひとつひとつ学んだ3週間でした。そして、それがうまく通じたときは本当にうれしく感じるものです。研究 面では、教授たちから親切なコメントをいただき、そのとき取り組んでいた論文は無事に専門雑誌に掲載される ことになりました。また、留学最後の2日間、ワシントンD.C.での観光もとても楽しい経験でした。

その後法政に赴任してから、長期留学や海外学会の機会をいろいろといただきました。初めての留学のとき と同様、いや、それよりもはるかにいろいろな事態が起こりました。その中で、見知らぬ人たちも含めて多くの方々 に助けていただいたこと、それが本当にありがたく、何かの機会には自分も人の手助けを行いたい、という気持 ちを強く持つようになりました。ちなみに、複数の国でのクリスマスを過ごしたことも素敵な想い出です。そし て、若いときにこうした機会を得られる皆さんを本当にうらやましく感じます。

SA プログラムは単なる「英語の学習の場」とは違います。世界を知るということは、自分を知るということ でもあります。ぜひ積極的に取り組んでください。それから経済学部では、英語学位プログラム「グローバル経 済学・社会科学インスティテュート(IGESS)」を設け、留学生や帰国子女を受け入れています。そのような学 生とも積極的に交流してください。そうした取り組みが皆さんの視野を拡げ、「世界のどこでも生き抜く力」を 創り出すものと確信しています。もちろん、楽しむことも大切に!

このプログラムへの参加を、皆さんの大きな飛躍に向けての第一歩としていただけたら幸いです。

2022年4月 法政大学経済学部長 廣川 みどり



● 【1】スタディ・アブロード(SA)プログラム

OVERVIEW OF THE STUDY ABROAD PROGRAM

経済学部のスタディ・アブロード(SA)プログラムとは、学生が2年次の春学期に、アメリカのカリフォル ニア大学デイビス校国際トレーニング & 教育センター、カナダのブロック大学英語教育センター、イギリスの シェフィールド大学英語教育センターで開講される英語の授業を履修する選択制のプログラムです。

1. スタディ・アブロード (SA) の目的

経済学部SAプログラムは、英語の集中的な学習によって実用能力に磨きをかけ、英語を通して留学先の文化、 社会、経済、ビジネス等の講義科目を学び、さらにホームステイ(※)やキャンパスライフなどの日常生活経験によっ て、異文化理解を深めることを目指すプログラムです。留学先で出会う外国人の教員や友人たちとの交流で、国際 経済人としてのマナーとルールを身につけ、自立の精神を養い、グローバル化の著しい世界に向かって、日本の立 場から説得力のあるメッセージを発信する能力を養うことが期待されます。そこで学んだことが就職や進学に結び つき、将来の可能性を大きく広げるものであることを願ってやみません。若い時代の留学で得られるみずみずしい 生活体験、学習体験は、生涯にわたって大きな影響を持つものです。直接的な異文化体験、カルチャーショックな ども、それらを積極的に捉え大切に反芻することによって精神の財産となり、物事を真に批判的に見る目が養われ、 日本の文化や社会、経済あるいは人間のあり方をより客観的に見られるように、また評価し直す契機ともなるでしょ う。SA が参加学生の人間的成長を促す貴重な心の糧となることも、もう一つの目的なのです。

(※) SA プログラムは、原則ホームステイでの滞在です。

2. プログラム概要

SA の授業はいずれも留学先大学の外国人講師により英語で行われます。授業は集中的な英語の学習プログラ ムに、その国の経済・ビジネス・文化・社会等の講義を折りまぜて構成されます。

- 留学時期:2年次春学期の約4ヶ月間
- 留学資格:
 - (a) 2年次に進級する見込みであること
 - (b) 健康であること
 - (c) 1年次終了までに1年次配当必修科目(外国語・入門ゼミ・スポーツ総合・専門必修)の単位を修得して いること(未修得の場合は原則留学できません)
- 募集人数:60~100名程度

(国際経済学科 40 ~ 60 名、経済学科・現代ビジネス学科 20 ~ 40 名)

● 希望者が派遣を予定している人数を超える場合は、留学先大学との交渉により、留学者数を増やすこともあ ります。

(選抜方法に関しては、【4】応募時期・選抜方法、【5】SA 留学先大学の決定についてを参照)

- その他注意事項:
- ① 希望者が派遣を予定している人数より極端に少ない場合(目安として、1 大学の留学者数が 15 人未満の場 合) は、留学先大学を減らす可能性があります。
- ② ガイダンス、留学準備講座の出席率が著しく低く、目つ留学意欲の低い学生については留学を取り消す場合が あります。その際、その時点までにすでに発生している費用についてはお支払いいただくこととなります。 また、SA 留学中に生活面・留学態度において、学生の本分を逸脱する行為があった時は本人より状況を確 認したうえで、SA 留学を中止し、強制帰国となる可能性があります。その際、帰国に係る費用は自己負担 となり、留学費用の返還は一切行いません。

3. 単位認定

留学先で修得した単位は、本学の単位に換算して 16 単位を上限に認定します。 留学準備講座・ガイダンス等 は、1年次のSA事前指導として1単位(専門・選択)の履修登録となります。また、SA研究レポートの評価は、 2年次のSA事後指導として1単位(専門・選択)の成績評価の対象となる予定です。

※ 成績不良、出席率の悪い学生には単位認定は出来ません。

帰国後の単位認定について

次の科目は帰国後、認定可能な経済学部の科目です。科目は自由に組み合わせて申請できます。

外国語科目

〈国際経済学科〉

- · 英語必修科目(各1単位) Reading and Interaction 1A · B Writing and Interaction 1A • B Listening and Presentation 1A • B Reading and Interaction 2A • B Writing and Interaction 2A • B Listening and Presentation 2A • B
- · 英語選択必修科目(各1単位、上限2単位) Academic Presentation and Interaction A • B Academic Reading and Interaction A • B Academic Writing and Interaction A • B Academic Listening and Interaction A • B Modern Novel A · B TOEFL and IELTS Preparation A • B TOEIC Preparation A · B Media English A • B

〈経済学科〉〈現代ビジネス学科〉

- · 英語必修科目(各1単位) Reading and Interaction A • B Listening and Presentation A • B Writing and Interaction A • B
- ·英語選択科目(各1単位、上限2単位) Academic Presentation and Interaction A • B Academic Reading and Interaction A • B Academic Writing and Interaction A • B Academic Listening and Interaction A • B Modern Novel A · B TOEFL and IELTS Preparation A • B TOEIC Preparation A · B Media English A · B

総合教育科目

スタディ・アブロード(総合) | ~ ||(各2単位)

専門教育科目

スタディ・アブロード(専門) | ~ Ⅲ (各2単位) (選択科目)

4. プログラムの運営について

経済学部SAプログラムは、法政大学と留学先大学との間で締結されている協定に基づき、経済学部が留学先 大学(付属機関)と直接やり取りの上、入学手続きのサポートを行っています。一方、ビザ取得や航空券手配、 海外旅行保険の申込等の各種渡航サポート及び出発前の現地危機管理情報の入手については、法政大学が国内旅 行代理店に業務委託する形で運営されます。

そのため、SAプログラムの留学先大学(付属機関)における授業料やホームスティ費等の現地費用については、 すべて留学先大学からの請求に基づき参加学生に請求され、本学における手数料は一切かかりません。また、旅 行代理店へのサポート費用(業務委託料)は、参加者が負担する航空券等旅行代金の中に一部含まれます。

従いまして、SAプログラムに申込み後、参加辞退が発生する場合は、留学先大学ならびに旅行代理店の規程 にもとづき、キャンセル料が申込者本人に対して請求されることとなります。



(2) SA スケジュール

SCHEDULE

1 年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	① SA 説E	明会			③ 合否発	表・留学先	の決定				
	2 SA 1	心募申請			④ パスポ	パスポート取得・更新		⑪ SA 費	用振込		
						⑤ 留学準	備講座及び	· ボガイダンス	ス		12 出国
						⑥ 渡航・旅券に関する諸説明			—		
						⑦ 帰国報告会・英語プレゼン					
						⑧ TOEIC®-IP 試験					
						⑨ ビザ取得方法説明会 ⇒ ⑩ビ*!				ごザ取得	

■ 2 年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 出国											
	③ 中間報	告書(月次	マ)の提出			® TOEIC	®-IP 試験				
				14 帰国・	SAレポー	ト提出					
					⑤ 帰国報		告会・英語	アレゼン			

※上記の日程はすべて予定であり、変更となる可能性があります。

1 SA 説明会(1 年次春学期)

SA についての全体的な説明会です。参加希望者は必ず参加してください。

2 SA 応募申請(1 年次 5 月頃 (予定))

最終希望登録であり、これ以後の募集は原則的にありません。

(3) 合否発表・留学先の決定(1年次9月下旬)

希望登録を受け、経済学部が最終的に合格者と留学先を決定します。

4 パスポート取得・更新 (1年次9・10月)

留学期間中有効なパスポートを各自で取得・更新します。パスポートにかかる費用は各自の負担になります。

(5) 留学準備講座及び SA ガイダンス (1 年次秋学期)

SA 出発前の 1 年次に留学準備講座及びガイダンスを実施します。留学準備講座では、各留学先に分かれて、 各国出身のネイティブ講師による英語の授業を受講します。ガイダンスでは、渡航手続き説明など留学まで のステップをサポートしていきます。どちらも出席は義務です。出席状況が思わしくない学生については、 留学が取り消されることがあります。

(6) 渡航・旅券に関する諸説明、留学先入学許可申請書等の記入指導

留学先決定後、渡航・旅券について旅行代理店による説明や、各大学の入学書類とホームステイ申込書の記入 についての説明を行います。

7 帰国報告会・帰国生 SA 研究レポート優秀者による英語プレゼンテーション(1 年次 10 月頃)

SA 帰国生の帰国報告会と SA 研究レポート優秀者による英語プレゼンテーションに参加します。先輩の SA の成果に触れて、モチベーションを高めてください。

8 TOEIC®-IP 試験(1年次・2年次10月)

出発前と帰国後に TOEIC®-IP を受験し、プログラム参加によりどれだけ英語力が向上したかを測ります。

9 ビザ取得方法説明(1年次11月)

ビザ取得のためには各種証明書(英文残高証明書など)を各自で用意することになります。国によって必要な書 類は異なり、準備に時間がかかる場合がありますので各自注意が必要です。提出時期、提出方法等についてはガ イダンスを通じて指示します。

10 ビザ取得(1年次11~2月)

各自でビザを取得します(ガイダンスにて取得方法をご案内します)。

(11) SA 費用振込(1年次2~3月(予定))

SA 費用 (渡航費、ビザ申請料・保険料を含む) は 1 年次の 2 ~ 3 月頃に通知・振込みを予定しています。

(12) 出国 < SA 開始 > (1 年次 3 月~ 2 年次 4 月)

※出国日は留学先によって異なります。

現地学校のプログラムにあわせ、例年1年次の3月から、留学先大学ごとにまとまって出国します。なお、 SAプログラムは法政大学の授業の一環であり、単独での出国・帰国は認められません。

(13) 中間報告書 (月次) の提出

毎月、現地での学習状況やSA研究レポートの作成状況についての報告書をメールで提出します。

(14) 帰国・SA 研究レポート提出(2年次7~9月)

SA の集大成として、帰国後に SA 研究レポートを提出します。このレポート提出を含めて、SA の単位が認 定される予定です。

(15) 帰国報告会・帰国生 SA 研究レポート優秀者によるプレゼンテーション(2年次 10月頃)

大学ごとにまとまって帰国した後、英語プレゼンテーションを行います。SA 研究レポート優秀者は、学生研 究報告大会にてプレゼンテーションを行い、現地で学んできた学習成果・生活等を発表します。



3 SA 費用について

EXPENSES

(1)費用内訳

次年度の費用は為替変動や留学先大学の授業料の変更等で増減する可能性があります。ご了承ください。なお、留学期間中の法政大学への学費の減免はありません。

以下の費用は、経済学部 2019 年度留学生の SA 費用です。

围	大学	授業料・宿泊費	留学準備講座	渡航・ビザ	保険	合計(円)
アメリカ	UC デイビス校	1,263,569 (US \$11,370)	10,000	252,230	44,740	1,570,539
カナダ	ブロック大学	849,426 (CA\$10,105)	10,000	229,970	44,740	1,134,136
イギリス	シェフィールド大学	1,117,394 (£7,748.384)	10,000	179,260	44,740	1,351,394

<外貨の日本円への換算> SA費用は以下のレートにて算出しています。

围	換算レート							
アメリカ	授業料 US \$1 = 110.94 円、宿泊費 US \$1 = 111.44 円(2019 年 2 月 15 日時点)							
カナダ	CA \$1 = 84.06 円 (2019 年 2 月 8 日時点)							
イギリス	ス f 1=144.21 円 (2019 年 2 月 8 日時点)							

(2) スケジュール、支払方法

旅行代理店の渡航・ビザに関するサポート費用(業務委託料)は、SA 合格後の10月に申込金としてまず請求されます。その後、現地授業料、宿泊費、留学準備講座費用、往復の渡航費、ビザ取得費用、海外旅行保険料等の費用は、1年次の2~3月頃に保証人宛てに提示し、お支払いいただく予定です。なお、支払方法についての詳細は、別途お知らせします。

(3) 「経済学部 SA 奨学金」について(給付)

経済学部独自の奨学金制度です。旅費総額(現地授業料、宿泊費含む)の30%程度(約30~45万円)を42名程度に支給します。なお、募集に関してはSAへの参加決定者を対象に1年次の10月に応募受付を行います。

(4) キャンセルについて

SA 費用のうち、参加申し込み後の 10 月以降は、留学前でも旅行代理店へのサポート費用(業務委託料)及びビザ取得費用が発生します。また、<u>1 年次 1 月以降</u>、万一個人のやむを得ない事情により SA 参加を辞退する場合、または教授会により SA プログラムの取り止めが決定した場合、旅行代理店及び現地機関の規程によるキャンセル料に加え、返金にかかる手数料、それに伴う為替差損などが発生することがあります。航空券についても早い段階からキャンセル料が発生するケースがあります。これらのキャンセルにかかる費用は、各自の負担となります。



【4】応募時期・選抜方法

SELECTION

例年、1年次春学期に説明会を行い応募期間を設けます。原則として1年次春学期の成績(GPA・TOEIC®-IP 試験の結果等)を中心に選抜を行います。



【5】SA 留学先大学の決定について

ANNOUNCEMENT OF APPLICATION RESULTS

留学先大学の受け入れ人数に制限があるため、以下の方法により、留学先を決定します。

- (1) 留学先大学についての希望順位を登録します。その希望を尊重したうえで成績を参考にし、法政大学が留 学先を調整します。
- (2)(1)の成績とは、1年次春学期の成績(GPA・単位修得状況等)及び入学前(3月)のオンライン TOEIC®-IP 試験の結果とします。
- (3) 人数の調整が行われた結果、費用の高い大学に振り分けられる場合がありますが、ご了承願います。

なお、希望登録から決定までのスケジュールは、【 2 】SA スケジュールに記した通りです。また、**一度決定** した留学先の変更は理由の如何を問わず一切できません。



【6】外国語能力検定について

TOEIC®-IP

SA 参加者は、留学前と留学後に TOEIC®-IP の受験が義務付けられています。



【7】渡航(出国・帰国)について

FLIGHT TICKETS

渡航のための航空券は、法政大学が旅行代理店を通じて用意します。





【8】各留学先の紹介

INTRODUCTION OF FACH STUDY ARROAD

【アメリカ】UNIVERSITY OF CALIFORNIA, DAVIS

フロンティア精神の地・西海岸でアメリカを体感

住 所: 1333 Research Park Drive, Davis, CA 95618 U.S.A

W e b : http://www.ucdavis.edu/



● 受け入れ機関

カリフォルニア大学デイビス校 (UC Davis Division of Continuing and Professional Education-International)

2 大学および周辺の紹介

カリフォルニア大学群のひとつとして 1905 年に開校さ れました。当初は農学部のみでしたが、年々拡大の一途を辿 り、大規模大学へと変身を遂げました。今日でも農学の分野 は全米でも高い評価を得ています。また、エスニック研究も 盛んで、デイビス校の大きな魅力のひとつとなっています。 キャンパスも非常に広大で教室間の移動には自転車を利用す る学生が多く、スケールの大きいキャンパスライフを楽しめ

デイビス市はサンフランシスコから約100キロ北東の位置 にあり、人口は約5万人、フレンドリーで気さくな治安の良 い大学の町です。町中には自転車専用道路が数多くあり、キャ ンパス以外でも自転車は最も便利な交通手段です。地中海性 の温暖な気候のため、外国人留学生にも人気のある町です。

3 特色

15 週間を通して Academic Engagement Track (AET) of Destination Davis Program (DD) を受講します。AET では語学授業とその他講義授業を並行して行います。語学授 業については、プレイスメントテストを受け、語学レベル別 に受講をします。その他講義授業では、グローバルビジネス やビジネスコミュニケーション、アメリカ文化などについて 学びます。ゲストスピーカーを招いての講義やディスカッ ション授業、課外活動(Service Learning)などもプログ ラムの一環として設けられています。

4 留学期間

6 宿泊施設 ホームステイ

6 参加費用

P.6 参照



【時間割】Academic Engagement Track (AET) Sample Schedule

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday		
9:00-9:50	Academic Success	Academic Literacy	Academic Success	Academic Literacy	Weekly Lecture		
10:00-10:50	-10:50 Series	Series S	Series	Series	Series		
11:00-11:50 13:00-13:50	US Society & Culture	Hot Topics in Global Business	US Society & Culture	Hot Topics in Global	Follow-up Discussion		
13:00-13:50				Business	Evacrication Learning		
14:00-14:50	Conversation Club		Conversation Club		Experiential Learning		
放課後	放課後 ILC Writing Center, Model UN Meeting, JASS Meeting など						

※上記はあくまで時間割の一例です。

後輩へのメッセージ**)**) SA18 期生 村上 遼平

私は、SAプログラムを通じて、英語力の向上はもちろんのこと、海外で生活すること でしか学ぶことのできない大変貴重な経験をしたと感じています。毎日が新鮮なことだら けで、忙しいながらも大変充実した留学生活でした。そんな充実した留学生活を送ること ができたのは、自分から行動し、様々なコミュニティーに飛び込んでいったことが大きい と感じています。最初は、慣れない外国の大学で、英語でのコミュニケーションに対し緊



張することや不安になることも多いと思いますが、自分からその一歩を踏み出すことで、現地の大学生も快く受け入れてくれ るはずです。自分自身も、アウトドアクラブに入り、多くの現地大学生とかかわったことで、飛躍的に英語力が向上し、アメ リカの文化に慣れることができました。SA 留学を最大限生かすためにも、これから行く皆さんは自主的に行動してみてはい かがでしょうか?素晴らしい留学生活が待ち受けているはずです。ぜひ楽しんできてください!!



【カナダ】BROCK UNIVERSITY

雄大な自然の中での先進的な学び

住 所: 500 Glenridge Avenue, St. Catharines, Ontario, Canada L2S 3A1

Web:http://www.brocku.ca/

● 受け入れ機関

ブロック大学(Brock University ESL Services)

2 大学および周辺の紹介

ブロック大学の名称は、イギリス陸軍の将軍であり、イ ギリスの植民地であったアッパー・カナダの統治者「アイザッ ク・ブロック」にちなんでつけられています。大学の創立は 1964年と比較的新しいですが、州立大学として地域の高等 教育において大きな役割を果たしています。

オンタリオ州トロントとニューヨーク州バッファローの 中間に位置するセントキャサリンズは、トロント市内へ車で 約60分、世界的な観光名所として有名なナイアガラの滝ま で車で30分ほどの距離にあります。ワインの里としても有 名であり、カナダ随一の温室産業の基地ということで美しい 公園や沢山の温室があるため、ガーデンシティとも呼ばれて います。またスキー場も近く、ゴルフコースも多いのでスポー ツも楽しめます。大学は総合大学で、アスレチックセンター や図書館は地域の住民にも開放されています。

3 特色

履修するコースは、カナダの大学進学希望者向けにプロ グラムされたもので、15週間にわたって学ぶものです。授 業内容は、語学学習(スピーキング、リスニング、ライティ ング、リーディング、グラマー)を中心に学び、そのほかビ ジネス英語を2週間かけて学びます。また、企業訪問やゲ ストスピーカーによる講義もあります。

International Centre 主催のイベント(自由参加)も開 催され、他の留学生との交流の場も多く用意されています。

4 留学期間

6 宿泊施設

ホームスティ

6 参加費用 P.6 参照



【講義の例】Hosei University Business English Program

am-12:00pm class	9:00am-12:00pm class	9:00am-12:00pm class	9:00am-12:00pm class
om-2:00pm	1:00pm-2:00pm	1:00pm-2:00pm	1:00pm-3:00pm Company Visit:
to Know Brock!"	Tour of BioLINC	Dan Lonergan, Co-op,	Interactive Tour.
	Cassie Price, BioLINC	Education, Ġoodman	Chocolate FX, St. David's, ON
	Coordinator	School of Business	
Tue	Wed	Thu	Fri
am-12:00pm class	9:00am-12:00pm class	9:00am-12:00pm class	9:00am-12:00pm class
om-2:30pm	1:00pm-3:00pm	1:00pm-3:00pm	ciass
		Company Visit:	12:00pm-2:00pm
	Giobal Commons	Enterprise Centre, 14	Closing Ceremony & Reception
		Ontario St., St. Catharines	IC104
e t	m-2:00pm ersation Café to Know Brock!" Tue m-12:00pm class m-2:30pm or Recreational Activity	m-2:00pm ersation Café to Know Brock!" 1:00pm-2:00pm Company Visit: Tour of BioLINC Cairns Complex Cassie Price, BioLINC Coordinator Tue Wed m-12:00pm class m-2:30pm 1:00pm-3:00pm	m-2:00pm ersation Café to Know Brock!" 1:00pm-2:00pm Company Visit: Tour of BioLINC Cairns Complex Cassie Price, BioLINC Coordinator Tue Med m-12:00pm class 9:00am-12:00pm class m-2:30pm or Recreational Activity Tioupm-3:00pm Conversation Café Global Commons 1:00pm-2:00pm Guest Speaker: Dan Lonergan, Co-op, Career & Experiential Education, Goodman School of Business 1:00pm-3:00pm class 1:00pm-3:00pm Company Visit: Tour of St. Catharines Enterprise Centre, 14

※上記はあくまで時間割の一例です。

後輩へのメッセージ))) SA18 期生 吉田 葵

私は正直 SA プログラムに参加しようか迷っていた時期がありました。約4ヶ月半と いうとても短い留学。想像よりも他大学の日本人が沢山いました。沢山、理想と現実に悩 みました。しかし、私は1ミリも行ったことに後悔せず充実した日々を過ごせたと言い切 れます。私の場合、周りの環境に恵まれていて、毎晩のように遊んだ向かいに住んでいる カナダ人のおばあちゃんだったり、友達のホストファミリーと仲良くなり、私のことをホ



ストガールのように優しくしてくれたりしました。未だに近所のおばあちゃんからは毎週カナダからメールが届きます。そし て、第2言語として英語を学びに来た友達との思い出は、留学をしないと味わえない特別なものです。互いの国を遊びに行く までの仲にもなりました。必ず日本にいては学べないモノが手に入る留学であると思います。どのような4ヶ月半にするかは、 すべて自分自身です。頑張ってください!





【イギリス】THE UNIVERSITY OF SHEFFIELD

シェイクスピアの国で学ぶ正統英語

住 所: 78 Hoyle Street, Sheffied S3 7LG, United Kingdom

Web: http://www.shef.ac.uk/

● 受け入れ機関

シェフィールド大学 (English Language Teaching Centre (ELTC))

2 大学および周辺の紹介

シェフィールド大学はその歴史的伝統においても、また 現在の学生数や施設の点においても英国で十指に入る名門 大学です。同大学は1905年に地域貢献を目指して医学、 工学などの高等教育機関が前身となって設立されました。 現在は文学・社会科学・法律・建設・地学・工学・医歯学 などの学部、大学院からなる総合大学です。

また、シェフィールド大学のあるシェフィールド市はロ ンドンから約200キロ北西に位置し、人口は約70万人(全 英で4番目)の都市です。かつての産業革命の発祥地で、 鉄鋼・金属工業等の産業都市として発展してきました。市 内は公園や森林に富み、郊外の美しい田園地帯の先には、 18世紀初頭以来山岳風景で名高い、ピークディストリク ト国立公園があり、環境の良いことでも有名です。

6 特色

シェフィールド大学英語教育センター(ELTC)の英語 科目の授業は受講生の実力に合わせたクラス編成で、各国 からの留学生と一緒に学びます。時事的な教材等も使用し、 Integrated Language Skills(読解、作文、スピーキング、 リスニング)全般の訓練を受けます。

法政大学経済学部生のための独自カリキュラムでは、語 学科目に加え、ビジネス英語を学びます。各科目を専門とす る先生とコミュニケーションをとりながら進める授業になる 予定ですので積極的に参加してください。

4 留学期間

3月中旬~8月上旬(予定)

6 宿泊施設

ホームステイ

6 参加費用

P.6 参照



Centre

【講義の例】

前期	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
09.15-10.45 (both courses)	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills
11.15-12.45 (both courses)	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills
13.45-15.15 University English	Option Class *	Option Class *	Lecture-general topics (1.45-2.45)	Option Class	free
後期	Mon	Tuo	Wed	Thu	Eri

後期	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
09.15-10.45	Integrated	Integrated	Integrated	Integrated	Integrated
(both courses)	Language Skills	Language Skills	Language Skills	Language Skills	Language Skills
11.15-12.45	Integrated	Integrated	Integrated	Integrated	Integrated
(both courses)	Language Skills	Language Skills	Language Skills	Language Skills	Language Skills
13.45-15.15 SEPO	3.45-15.15 Rusiness English		Lecture-general topics (1.45-2.45)	Business English	free

※上記はあくまで時間割の一例です。

後輩へのメッセージ))) SA18 期生 杉谷 元希

私は、約4ヶ月間のイギリスでの留学を経て英語力のみならず、自分の視野を想像以上 に広げることが出来たと確信しています。留学中は、授業以外の時間を Meet up などの交 流会に参加、またホストファミリーとの親睦を深めることに尽力することで英語力が飛躍し ました。さらに、イギリス文化を知ることの出来るアクティビティにメンバー全員で参加し 共に異国の文化に触れるなどの大変貴重な体験をし、異国文化についての理解が深まり物事



をより多角的に捉えられるようになりました。また、共に長期間異国の環境に身を置いた仲間はかけがえのない存在となり、約4ヶ 月間イギリスで過ごす中で常にお互いを気遣い助け合いながら過ごした日々で出来た絆は強く、帰国後も交流する仲になってい ます。本当に楽しい日々を過ごすことが出来ました。

これから SA へ行く皆さんへ、イギリスという素晴らしい伝統がある国で貴重な留学生活を楽しんで下さい。応援しています!



【9】ホームステイについて

HOMESTAY

ホームステイ先はホテルではありません。ホストファミリーの義務は「住居と食事を提供すること」であり、あ なたをお客様として扱うことでも、あなたの語学の勉強の手伝いをすることでもありません。食事も日本と比べて とてもシンプルな場合が多く、過度な期待は禁物です。風呂・シャワーの習慣も、日本と大きく違います。「お金を払っ ているんだから」という意識は捨て、理想と異なる部分も「異文化経験=留学の醍醐味の一つ」と捉えましょう。

日本は、先進国の中でもトップレベルの生活インフラを備えています。清潔な水も温かいお湯も容易に手に 入り、電気や Wi-Fi 通信で困ることもほとんどありません。食事の種類や味も多様な選択肢があり、安価です。 治安水準も高く、同一の文化圏に属する住民が比較的多いため、文化的な摩擦も限られています。世界の国々で は、先進国であっても、こういった快適な環境が整っているわけではありません。留学の目的は、ただ語学を学 ぶことではありません。自分が今いる快適な生活圏を離れて、多様な生活環境の中で摩擦を経験し、その中で生 き抜く力を学ぶ、という目的もあります。

事前の心構えをするうえで、ホームステイに関する情報を収集することも効果的です。

(参考例) Blossa「ホームステイの理想と現実!?ホームステイを成功させる秘訣」 http://blossa.org/blog/homestay-fantasy



【10】サポート体制、問い合わせ先

INSURANCE & CONTACT INFORMATION

法政大学ではSAに参加する学生全員に、大学が指定した海外旅行保険への加入を義務づけています。この海 外旅行保険は SA 参加学生用に特別に設計されたもので、大学が一括して加入するため保険料が割安になります。 保険内容に関しては、1年次12月のガイダンス及び2月の最終ミーティングで説明します。

(1) 海外旅行保険

参加学生は、法政大学が指定する海外旅行保険に加入します。現地でのケガや病気のとき、あらかじめ指定 された病院(キャッシュレス指定病院)で診療を受ければ、その場で自己負担することなく治療が受けられます。 指定病院以外でも、領収書と診断書があれば、帰国後に一定の範囲内で保険金を受け取ることができます。ただ し、保険対象の範囲は定められており、歯科治療は保険の対象外となります。詳しくは出発前の各種ガイダンス でお知らせします。

(2) 現地でのアクシデント対応

① 病気やケガの場合

現地で病気やケガをした際には、アシスタンスサービス(24時間・日本語対応のフリーダイヤル)に直接電 話すると、近くの病院を探してくれたり、適切なアドバイスを受けたりすることができます。

② トラブルの場合

留学中の困ったことや悩み事なども、アシスタンスサービス(24 時間・日本語対応のフリーダイヤル)が相 談にのります。また、経済学部事務課 SA 担当も対応しますので、その場合はメールにてご連絡ください。

(3) 質問・相談窓口

経済学部事務課 SA 担当は、SA 応募から帰国後の諸手続きまでの各種サポート(事前指導、SA 奨学金申請、 単位認定手続き、出発後の連絡内容伝達、課題連絡・提出や帰国後報告会の案内・実施等)を行います。SA に 関して気になることがありましたら、経済学部窓口へお越しください。

なお、事務連絡はすべて Web 掲示板やメール、または SA ガイダンスの中で行いますのでご確認ください。



No.

【11】SA 以外の留学制度について

FOR MORE INFORMATION

経済学部ではここ数年、派遣留学や認定留学に行く学生が増えています。両制度において留学先大学での修 得単位は、教授会で審議の上、経済学部の卒業所要単位として認定されます(経済学部は30単位が上限)。

また、グローバル教育センターでは、夏季休暇中と春季休暇中に、英語をはじめとした外国語の語学力の強 化のため、2 週間から4週間程度の短期語学研修(設置科目)を実施しています。学部の定めにより、受講者 に対して単位が認定される場合がありますので、認定科目、認定単位数については経済学部の事務課窓口へご相 談ください。

以下に紹介する制度の詳細については、法政大学グローバル教育センターにお問い合わせください。

(1)派遣留学制度について

3年次または4年次に、法政大学の海外協定大学へ半期または1年間の留学ができる制度です。また帰国後、 留学先の大学で修得した単位は教授会で審議の上、本学の単位として認定されます。派遣留学生には、派遣先大 学により 70 ~ 100 万円の奨学金が支給されるほか、留学先での授業料が全額免除されます。派遣留学生とな るためには、グローバル教育センターで実施される選考試験に合格する必要があります。

(2) 認定海外留学制度について

2 年生以上の学生が留学先大学(学位授与権を有する正規の高等教育機関)を自分で探して、その大学から入 学許可を得て本学に申請をし、学部の許可を得て留学する制度です。留学期間中の学籍は「留学」となり、留学 期間(半期または1年間)は修業年限に含まれます。また帰国後、留学先の大学で修得した単位は教授会で審 議の上、本学の単位として認定されます。

(3) グローバル教育センター設置科目について

① 短期語学研修

夏季休暇中と春季休暇中に、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語等の語学力の強化のため、2~4 週間程度実施する短期語学研修制度です。語学レベル、GPA などに関係なく留学が可能であり、個人の語学力 に応じたレベル別の授業を行っており、初心者から上級者まで語学力の向上に活かすことができます。

② 国際ボランティア

夏季休暇中と春季休暇中の3~4週間程度、国際ワークキャンプに参加し、それぞれの現場で必要としてい る活動支援を通じて、国際協力に対する理解を深めます。世界中のボランティアと一緒に働くことで、文化や言 語の壁を越えた理解を深めながら、コミュニケーション能力を養い、海外で活躍する素地を育みます。プログラ ムにより、派遣地域、派遣期間が異なります。

③ 国際インターンシップ

夏季休暇中と春季休暇中の2~4週間程度、海外企業やNGO団体でのインターンシップを通じて、グロー バル環境での働き方や企業文化の違いを学びます。将来的には、グローバル企業への就職など学生のキャリア形 成支援につなげることを目的としています。プログラムにより、派遣地域、派遣期間が異なります。

注意:①短期語学研修、②国際ボランティア、③国際インターンシップの単位認定は、プログラムに参加した次 学期(夏季参加の場合には当該年度秋学期、春季参加の場合には次年度春学期)に行うことになりますの で、4年生の最終学期については、単位認定ができません。

> 発行 法政大学経済学部事務課 編集·印刷 ㈱ P 栄文舎

自由を生き抜く実践知 Faculty of Economics

------ 問い合わせ先 ------